

## 私のおすすめの本

横井 のり枝 准教授  
(マーケティング論)

### 『思考の整理学』 外山 滋比古著

ちくま文庫 (ISBN-13: 978-4480020475) 1986年

ネット時代になり、知識を得ることは容易になりました。しかし、それら知識を詰め込むだけではなく、それら知識をもとに思考し、それを整理し、そして思考を自分自身で表現していくことが重要です。

あまりにも有名になった本ですので、ここで詳細を述べるよりもまず、一度は読んでみることをおすすめします。

なお、本書はネット時代到来の前に書かれた本ですので、具体例が古い部分もありますが、思考の整理自体は普遍的ですので参考になるとと思います。

### 『マーケティング論の基礎』 現代マーケティング研究会編

同文館出版 (ISBN-13: 978-4495649616) 2019年

マーケティングという言葉はよく聞くものの、実際のところはよくわからない学生も多いのではないのでしょうか。そんな学生にとって本書は、最適な入門書です。一方、マーケティングに興味はないものの、広告につられて商品を購入したり、商品に添付されているシールを集めて懸賞に応募したりすることはないのでしょうか。そんな学生にとっても、一読の価値があると思います。

みなさんの多くは、前から欲しかったもの、あるいは店頭で偶然みつけたものなど、新商品を手にしたことがあると思います。それらは、消費者である皆さんにとって「欲しい」と感じるから手にとって購入することになります。では、新商品とはどのようなものを指すのでしょうか。また、消費者に手にとってもらい、購入してもらえる新商品を開発するには、企業はどのようなことを考慮していかなければならないのでしょうか。本書では、企業側の視点から消費者にいかにか商品を買ってもらおうとしているのかを知ることができます。

日頃、なにげなく手にとっている商品がどのようなコンセプトで開発され、どのような戦略で販売されているのかについて学んでみるのも、良いかもしれません。

『みんなの知らないロジスティクスの仕組み ―暮らしと経済を支える物流の知恵』

苦瀬博仁・岡村真理 著

白桃書房 2015年

1年で、あるいは1か月で何回くらい宅配便を利用しているでしょうか。配達に際して、時間指定をしていますか。ほとんどの場合、正確な時間と場所に、物資が届いているはずで、それは当たり前だと感じているのでしょうか。その当り前は、努力によって成し遂げられています。筆者はそれを、商品や物資の調達から生産、流通を経て消費に至るプロセスであるロジスティクスの極意と述べています。

日常生活を送る中では、宅配便だけではなくコンビニや商業施設など、さまざまな場面においてロジスティクスが関係しています。たとえば、コンビニで販売されるサンドウィッチは、パンと具材、そしてそれらを包むパッケージを加工してはじめて販売する商品としてのサンドウィッチになります。その加工過程にも、ロジスティクスは大きく関わります。また、大型の商業施設では多くの店がさまざまな商品を販売していますが、それら商品を施設に運ぶのは、ロジスティクスの役割になります。では、その商業施設が毎朝10時に開店する前までに、全店舗が必要する多数の商品を一度にひとつの商業施設に運ぶ場合を想像してみてください。周辺道路はどうなっているのでしょうか？施設前に何十台、何百台のトラックを駐車させておくのでしょうか。それでは周辺を利用する一般の車両や通行者が困ってしまいます。それを解決し、施設に適切な時間に適切な商品を運んでいるのもロジスティクスです。

日頃、当たり前になりがちですが実は努力と知恵により、わたしたちの生活を支えるに至っているロジスティクスを学ぶこともまた、おすすめしたいです。